

正誤表（現況分析（研究））

52：京都大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01	1_文学部、文学研究科	p.3	文化財総合研究センターを再編・統合を実現し、	文化財総合研究センター <u>の</u> 再編・統合を実現し、	「を」は「の」の誤字
02	1_文学部、文学研究科	p.4	レイシズムとコロニアリズムの表象ーローズ像・ガンジー像の撤去運動から」など多様で、	レイシズムとコロニアリズムの表象-ローズ像・ガンジー像の撤去運動から」など多様で、	「表象」の後が音引きになっているため、ハイフンに修正
03	2_教育学部、教育学研究科	p.4	本研究科教員の多くが科学研究費補助金に申請して採択され…	本研究科教員の多くが <u>科研費</u> に申請して採択され…	表記の統一
04	2_教育学部、教育学研究科	p.5	…研究科の各講座やグローバル教育展開オフィスの主催により開催された講演会・ワークショップ…	…研究科の各講座やグローバル教育展開オフィスが主催 <u>した</u> 講演会・ワークショップ…	表記の修正
05	7_薬学部・薬学研究科	p.6	大学本部におけるプレスリリースや記者会見、薬学部・薬学研究及び各研究室のホームページなどの活用、…	大学本部におけるプレスリリースや記者会見、薬学部・薬学研究 <u>科</u> 及び各研究室のホームページなどの活用、…	脱字があったため
06	8_工学部・工学研究科	p.6	リール大学（Lille）が参画している。	リール大学- (Lille) が参画している。	他の箇所の記載と統一するため
07	8_工学部・工学研究科	p.6	インドのディブルガル大学、韓国ソウル大学と	インドのディブルガル大学、韓国 <u>の</u> ソウル大学と	他の箇所の記載と統一するため
08	8_工学部・工学研究科	p.6	専攻間学術交流協定(MOU)を締結し、	専攻間学術交流協定 <u>(MOU)</u> を締結し、	他の箇所の記載と統一するため

正誤表（現況分析（研究））

09	8_工学部・工学研究科	p.6	○フランス・ボルドー大学において	○フランスの <u>ボルドー</u> 大学において	他の箇所の記載と統一するため
10	8_工学部・工学研究科	p.8	「インフラ維持管理におけるメンテナンス技術の推進に関する包括協定書」	「インフラ維持管理におけるメンテナンス技術の推進に関する包括協定 <u>書</u> 」	他の箇所の記載と統一するため
11	8_工学部・工学研究科	p.8	機械理工学専攻のもとに、平成 31 年度より産学共同講座（研究部門）として「進化型機械システム技術産学共同講座（三菱電機）」を開設した。	機械理工学専攻 <u>では</u> 、平成 31 年度より産学共同講座（研究部門）として「進化型機械システム技術産学共同講座（三菱電機）」を <u>設置</u> した。	他の箇所の記載と統一するため
12	8_工学部・工学研究科	p.8	京都大学-三菱電機の連携活動	京都大学 <u>-</u> 三菱電機の連携活動	他の箇所の記載と統一するため
13	8_工学部・工学研究科	p.8	「フロー型エネルギー貯蔵研究講座（共同講座）」設置した。	「フロー型エネルギー貯蔵研究講座（共同講座）」 <u>を</u> 設置した。	脱字があったため
14	8_工学部・工学研究科	p.9	コース(平成 28～30 年度養成者数:7 名)と、博士後期課程学生等およびアライアンス外の研究者も参加できるコース(平成 28～30 年度養成者数:65 名)により、	コース(<u>平成 28～30 年度養成者数:7 名</u>)と、博士後期課程学生等およびアライアンス外の研究者も参加できるコース (<u>平成 28～30 年度養成者数:65 名</u>)により、	他の箇所の記載と統一するため
15	8_工学部・工学研究科	p.9	デルフト工科大学 (VUR) と共同研究を実施中である。	<u>オランダの</u> デルフト工科大学 (VUR) と共同研究を実施中である。	他の箇所の記載と統一するため
16	8_工学部・工学研究科	p.9	バンドン工科大学（インドネシア）などから	<u>インドネシアの</u> バンドン工科大学 <u>-(インドネシア)</u> などから	他の箇所の記載と統一するため

正誤表（現況分析（研究））

17	8_工学部・工学研究科	p.9	ハーバード大学やデルフト工科大学等との連携を積極的に進め、	米国のハーバード大学やデルフト工科大学等との連携を積極的に進め、	他の箇所の記載と統一するため
18	8_工学部・工学研究科	p.9	島根県立出雲高等学校（平成 24 年～毎年約 320 名）、近畿大学附属和歌山高等学校	<u>島根県立出雲高校（島根県）</u> （平成 24 年～毎年約 320 名）、近畿大学附属和歌山 <u>高校（和歌山県）</u>	他の箇所の記載と統一するため
19	8_工学部・工学研究科	p.9	なお、島根県立出雲高等学校には、高校に出向いて	なお、 <u>島根県立出雲高校</u> には、高校に出向いて	他の箇所の記載と統一するため
20	8_工学部・工学研究科	p.9	その他、大阪府立北野高等学校、香川県立三本松高等学校から学生を受入れた。	その他、 <u>大阪府立北野高校（大阪府）</u> 、 <u>香川県立三本松高校（香川県）</u> から学生を受入れた。	他の箇所の記載と統一するため
21	14_生命科学研究科	p.4	【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】 生命科学研究科においては、医薬系や農学系等の学際的研究が	【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】 <u>○</u> 生命科学研究科においては、医薬系や農学系等の学際的研究が	体裁が崩れていたため
22	14_生命科学研究科	p.7	【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】 ○ インパクトの高い（中略） （生命科学研究科、2016～2019 年度）） [B.1]	【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】 ○ インパクトの高い（中略） （生命科学研究科、2016～2019 年度）） <u>）</u> [B.1]	不要なカッコ）があったため
23	16_地球環境学堂	p.3	クロス・アポイントメント	<u>クロスアポイントメント</u>	京都大学の表記に統一するため
24	19_生命科学研究科附属放射線生物研究センター	p.3	2018 年 4 月に組織改変を	2018 年 4 月に組織 <u>改編</u> を	誤字があったため

正誤表（現況分析（研究））

25	19_生命科学研究科附属放射線生物研究センター	p.7	世界最高の貴重な細胞』コレクション（別添資料 5219-iC-3 参照）には、	世界最高の貴重な 』 細胞コレクション（別添資料 5219-iC-3 参照） 』 には、	かぎ括弧（』）の位置を移動させる必要があったため
26	19_生命科学研究科附属放射線生物研究センター	p.10	2018 年に掲載されて以降わずか 1 年の間に 41 度引用された波及効果	2018 年に掲載されて以降わずか 1 年の間に 41 度回 引用された波及効果	p.5 と統一するため
27	生命科学研究科附属放射線生物研究センター	p.10	・・・がん細胞が UCHL1 という遺伝子の活性化を介して当代謝経路をリプログラミングして・・・	・・・がん細胞が UCHL1 という遺伝子の活性化を介して 糖 代謝経路をリプログラミングして・・・	「当代謝経路」は「糖代謝経路」の誤り
28	21_人文科学研究所	p.3	2018 度	2018 年度	脱字があったため
29	21_人文科学研究所	p.4~p.5	2019 年度には教授 2 名（うち 1 名は外国人）、2020 年 7 月にはさらに学外から教授 1 名を採用した。	2019 年度には教授 2 名（うち 1 名は外国人）、 <u>准教授 1 名の採用を決定した。</u>	新型コロナウイルスの影響により、2019 年度に着任予定だった教授が 2020 年度着任へとずれ込んだため、採用が決定された時期を基準に表記を修正。また、1 名分の職階について誤りがあったため、あわせて修正。
30	21_人文科学研究所	p.5	2019 年度に准教授 1 名、教授 1 名を採用し、	2019 年度に准教授 1 名、 <u>2020 年度に</u> 教授 1 名を採用し、	外国人教授の採用は 2019 年度ではなく 2020 年度が正しい。
31	22_ウイルス・再生医科学研究所	p.2	新産業の創生をめざしている。	新産業の創生を <u>目指</u> している。	誤字があったため
32	22_ウイルス・再生医科学研究所	p.4	6 名の外部委員と所長副所長によって	6 名の外部委員と所長、 副 副所長によって	読点の脱落

正誤表（現況分析（研究））

33	22_ウイルス・再生医科学研究所	p.4	これに加え 35 歳以下の	これに加え、 <u>35</u> 歳以下の	読点の脱落
34	22_ウイルス・再生医科学研究所	p.6	ロンドン駐日大使館でおこなった。	ロンドン駐日大使館で <u>行</u> った。	誤字があったため
35	22_ウイルス・再生医科学研究所	p.6	研究交流をおこなった。	研究交流を <u>行</u> った。	誤字があったため
36	22_ウイルス・再生医科学研究所	p.6	情報発信をおこなっている。	情報発信を <u>行</u> っている。	誤字があったため
37	24_生存圏研究所	p.5	クロスアポイント制	クロスアポイント <u>メン</u> ト制	誤字があったため
38	24_生存圏研究所	p.7	学術交流協定を(MOU)を交わし	学術交流協定を <u>を</u> (MOU)を交わし	誤字があったため
39	24_生存圏研究所	p.8	生存圏学際萌芽センターの運営活動を通じて	生存圏学際萌芽 <u>研究</u> センターの運営活動を通じて	誤字があったため
40	31_東南アジア地域研究研究所	p.5	地域研究分野での大平正芳記念賞や、大同生命地域研究賞（2名）、学士院賞、	地域研究分野での大平正芳記念賞や、大同生命地域研究 <u>奨励</u> 賞（2名）、学士院賞、	賞の名称の誤り
41	33_学術情報メディアセンター	p.6	中間評価では高評価（A 評価）受け	中間評価では高評価（A 評価） <u>を</u> 受け	脱字があったため